



温泉観光都市として
繁栄してきた熱海市は

昭和43年にピークを迎
え、年間600万人も

の宿泊客が熱海の温泉
を満喫、夜のネオン街

に繰り出していた光景
が、走馬灯のように思

いだされます。

経済の隆盛が熱海を
温泉観光都市として発

展させてくれたことに
感謝する一方で、発展

は永遠ではないことも
現在、如実に体験して

おります。

衰退が顕著な今、変
化を期待することより

も、市民一人一人が改
革に参画し、尽力する

ことが求められている
のかも知れません。

平成15年10月の昼下
がり、熱海市役所にあ

る女性から電話が入り
ました。女性は東京在

住で古い建築物を見学
したり、歴史的な町並

みを訪ねることを唯一
の楽しみ(事業の合間)

にしておられ、熱海日
取得、市文化財に指定、

16年10月に熱海市が
(旧日向別邸保存会会
長)

日向別邸の見学を希望さ
れたのですが、熱海市
が所有する建築物では
なく、某民間企業の保
養所であることを知ら
れる傍ら、企業が売
りに出しているとの情
報を得ました。

日向別邸の将来を案
じた女性は、所有者の
某企業を訪問し、文化
財的価値ある日向別邸
の保存を訴えました。

その後、保存に向けた
進展がなく、案じてい
たおり、購入を打診し
ていた某大学との交渉
が決裂、女性は企業を
通じて、熱海市に購入
資金の全額寄付を申し
入れたのです。

重要文化財・旧日向
別邸を、ご覧ください。

18年8月、日向別邸
は重要文化財に指定さ
れるにおよび、熱海市
は名実共に文化を兼ね
備えた観光都市へと改
革が推し進められるこ
とになりました。

文化の町 熱海

中井 正勝



日向別邸離れ社交家
は、ドイツ人の建築家
ブルーノ・タウトが日
本に逃避行中に設計し
た日本で唯一の建築物
です。

奇しくも、ブルーノ・タウトが設計に参画した母国の保存を訴えました。

その後、保存に向けた進展がなく、案じていたおり、購入を打診していた某大学との交渉が決裂、女性は企業を通じて、熱海市に購入資金の全額寄付を申し入れたのです。

重要文化財・旧日向別邸を、ご覧ください。

16年10月に熱海市が(旧日向別邸保存会会長)